

# 令和5年度健康づくり指導者セミナー（働き世代の健康づくりコース） 実施報告

## 1. 本セミナーの概要について

### 【目的】

職場における健康づくりへの理解が進み、働き世代の健康づくり活動がより円滑かつ効果的に推進されることを目的とする。

### 【テーマ】

「イキイキと女性が働ける職場づくりに向けて」  
男女ともにより健康で働きやすい職場づくりを考える機会とする。

### 【対象者】

愛知県内の企業や事業所において、下記に該当する者

- ・ 管理者及び責任者
- ・ 従業員の健康管理に従事する者または従事する予定の者
- ・ 職域の健康管理を支援する団体（医療保険者、商工会議所・商工会、市町村等）の職員

### 【定員】

定員：80 事業所／回

### 【日時】

ライブ配信 令和5年8月30日（水）午前10時から午後3時まで

動画配信 令和5年9月22日（金）午前10時から10月20日（金）午後5時まで

### 【方法】

Web 会議システム（Zoom）を利用した“ライブ配信型研修”と、動画配信サイト（YouTube）を利用した“動画配信型研修”とする。

### 【共催】

愛知県経営者協会、愛知県勤労者安全衛生研究センター

## 2. 講義・事例紹介

### ●カリキュラム

#### ●ライブ配信 令和5年8月30日（水） 10:00～15:00

時間	内容	概要
9:30	受付開始（9:55～受講アナウンス）	
10:00	開講・オリエンテーション	
10:05 (30分)	講義* 「女性のからだと職場における健康課題」 あいち健康の森健康科学総合センター健康開発部 医師 吉武 姿子	女性の健康課題や特有の疾病について理解し、配慮した環境づくりにつなげる。
10:35	質疑応答	
10:40	休憩	
10:45 (30分)	情報提供* 「愛知県の女性活躍推進に向けた取り組みについて」 愛知県県民文化局男女共同参画推進課 女性の活躍促進グループ 課長補佐 太田 美代子氏	多様な人材が健康に働くために、企業における女性活躍の課題やメリット、愛知県が実施している認証や支援制度を紹介する。
11:15	質疑応答	
11:20	休憩	
11:25 (20分)	事例紹介* 「企業から学ぶ 取組み事例①」 名工銘鉄株式会社 代表取締役社長 田中 俊行氏	県内事業所における取り組み事例から理解のための働きかけや、柔軟な働き方、男女共に働きやすい職場づくりの工夫点を学ぶ。
11:45 (20分)	事例紹介* 「企業から学ぶ 取組み事例②」 株式会社丸天産業 総務人事部長/未来企画室長 竹内 理恵氏	
12:05	質疑応答	
12:10	昼食	
13:10 (60分)	グループセッション（意見交換） 「職場の健康づくりについて情報交換しよう」 （各グループで司会、書記、発表者を決め、意見交換をします。）	受講者同士で、健康づくりの取り組みや想いを情報交換し、自身の立場でできる職場づくりを考える。
14:10	休憩	
14:20 (30分)	発表・情報共有 （グループセッションで話し合われた内容を発表、共有します。）	
14:50	事務連絡、閉講	

（カリキュラム内容は変更する場合があります。）

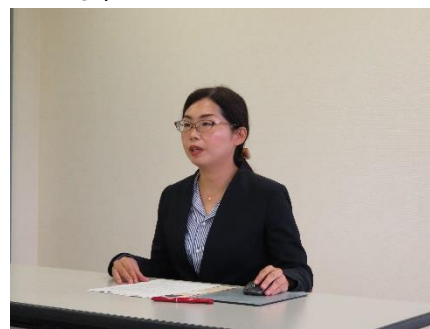
#### ●動画配信 令和5年9月22日（金） 10:00～ 10月20日（金） 17:00

動画時間は約 1 時間 57 分

## 講義「女性のからだと職場における健康課題」

あいち健康の森健康科学総合センター健康開発部 医師 吉武 姿子

女性の健康課題や特有の疾患の理解や配慮した職場づくりについて、必要な視点や実際に起こりうる健康課題の対応例をお話しいただきました。必要な視点では、教育的、社会的な背景も踏まえた現状について考察いただきました。対応例では、職場で起こりやすいコミュニケーションのすれ違いの事例について、管理職、働く女性の両者の思いを整理し、相互理解のための医学的な知識や対応例などポイントを紹介いただきました。



## 情報提供「愛知県の女性活躍推進に向けた取り組みについて」

愛知県県民文化局男女共同参画推進課 女性の活躍促進グループ

課長補佐 太田 美代子氏

女性が元気に働き続けられる愛知の実現に向けて、働く場における女性活躍に向けた気運の醸成や、企業の取組を促進するための事業について紹介いただきました。愛知県の現状や女性活躍が必要な理由、取り組むとどのようなメリットがあるのかなど具体的にご説明いただき、先進企業の取り組み事例をご紹介いただきました。



## 事例紹介「企業から学ぶ 取組み事例①」

名工銘鋳株式会社 代表取締役社長 田中 俊行氏

2022年度「あいち女性輝きカンパニー」優良企業として表彰された名工銘鋳株式会社様の取り組みについてご紹介いただきました。社員ファーストを掲げ、社員の方が意見を出し合える男女混合のプロジェクトチームを立ち上げるなど、男女共に働きやすい風土づくりを行ったことやプロジェクトチームの意見を実際に支援制度として反映されたことなど具体的な取り組みについてお話しいただきました。



## 事例紹介「企業から学ぶ 取組み事例②」

株式会社丸天産業 総務人事部長/未来企画室長 竹内 理恵氏

2022年度「あいち女性輝きカンパニー」優良企業として表彰された株式会社丸天産業様の取り組みについてご紹介いただきました。女性管理職、女性社員としての視点から働きやすい職場づくりに取り組んだことで、勤務制度の見直しなどのソフト面、男女それぞれの休養室設置などのハード面ともに「安心」して働くことのできる環境づくりにつながっていることについてお話しいただきました。



## グループセッション「職場の健康づくりについて情報交換しよう」（意見交換）

1 グループ 3~6 名として、7 グループに分かれて意見交換をしました。今回は、参加者のお立場や企業規模でグループ分けしました。

グループセッションの円滑な進行のため、各講義の後にワークシートへの記入時間を設け、各講義で気づいたこと、取り組んでみたいことを個人ワークとしてまとめました。

グループセッションでは、その個人シートをもとに、気づきなどを発表し、グループ内で共通する課題や、取り組みの工夫点などについて意見交換しました。

各グループセッション終了後、一部グループにセッションで挙げた話題や意見を発表していただき、参加者全体で情報共有しました。

令和 5 年度健康づくり推進者セミナー（働き世代の健康づくりコース）ワークシート

		氏名 ( )	
		気づいたこと、感じたこと (質問含む)	ご自身の立場でできそうなこと 取り組みたいこと
1	講義 「女性のからだ 職場における健康 課題」		
2	情報提供 「認知症の女性活 躍推進に向けた取 り組みについて」		
3	事例紹介 「企業から学ぶ 取 組み事例①」		
4	事例紹介 「企業から学ぶ 取 組み事例②」		
5	グループセッション 「職場の健康づく りについて情報交 換しよう」		

※このシートは、本日のセミナーに提出をお願いします。所属を記載する場合は、ご連絡ください。  
 問い合わせ先：国立研究開発法人健康科学研究所 健康増進部健康推進課  
 (FAX) 0562-82-0228 (E-mail) [yousei@nri.affrc.go.jp](mailto:yousei@nri.affrc.go.jp)

### グループセッション内容（一部抜粋）

#### 【本日のセミナーで気づいたこと】

- ・ 女性特有の疾患に関しては個人差も大きいと改めて感じた。
- ・ 管理職、女性従業員両方の立場ごとの思いのすれ違いに気づくことができた。
- ・ オフィスのハード面を整えることも女性の働きやすさにつながるということがわかった。
- ・ 男性の従業員が多い職場での女性の健康づくりについて課題に感じている企業が多い。産業保健の担当だけでなく、人事の担当や経営層、管理職などの理解が必要だと感じた。
- ・ 従業員自身が支援を受けることに前向きでないこともある。意外と自身の体への理解や配慮が不足していることも多いので、情報発信していきたい。
- ・ 女性の健康づくりについて発信する側としても、女性特有の問題に対し配慮と特別扱いの線引きが難しいと感じるが、必要な支援は躊躇せずに実施することも大切だと思った。

#### 【ご自身の立場でできそうなこと、取り組みたいこと】

- ・ 女性向けの内容であっても男女ともに情報発信していくことで男性の理解を得られるのではないかと感じた。
- ・ 産業保健スタッフとして、女性の従業員が男性の上司に話しづらいときは医療スタッフが間に入るなど柔軟に対応したい。
- ・ 健康保険組合の助成などを活用しながら子宮頸がんや乳がんの検診などを進めていきたい。
- ・ 健康づくり休暇など、検診や体調不良などの際に平等に使用できる制度を考えていきたい。
- ・ 今日の内容を上司や同僚にも共有したい。

### 3. 申込者数・受講者数について

#### 【申込者数（事業所数）】

ライブ配信：39人（34事業所） 動画配信：158人（118事業所） 合計197人

#### 【受講者数】

ライブ配信：35人（参加者数） 動画配信：307回（動画視聴回数）

（以下、ライブ配信と動画配信合算して集計）

#### 【受講者の所属】

(n=193)

	企業	医療保険者	行政	その他
人数（人）	123	20	24	26
割合（％）	63.7	10.4	12.4	13.5

#### 【受講者の職種（役職）】

(n=193)

	保健師・ 看護師	管理栄養 士	役員級	管理職級	事務	その他 (未記入含)
人数（人）	84	4	11	23	57	14
割合（％）	43.5	2.1	5.7	11.9	29.5	7.3

### 4. アンケート結果について

#### 【実施期間】

ライブ配信 令和5年8月30日（水） 研修会終了後

動画配信 令和5年9月22日（金）から10月20日（金）まで

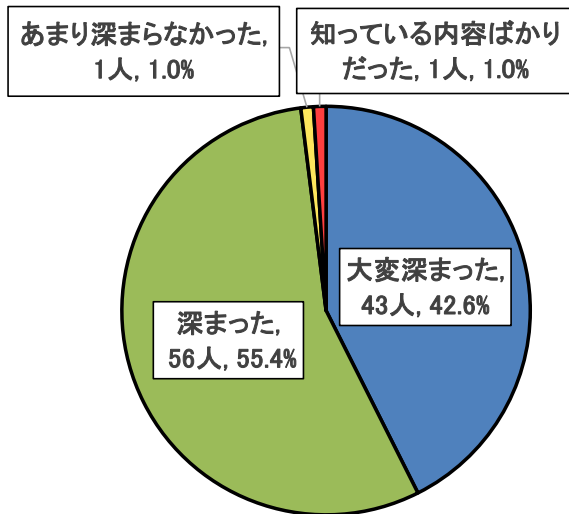
#### 【回収状況】

合計101人（回収率52.3％）

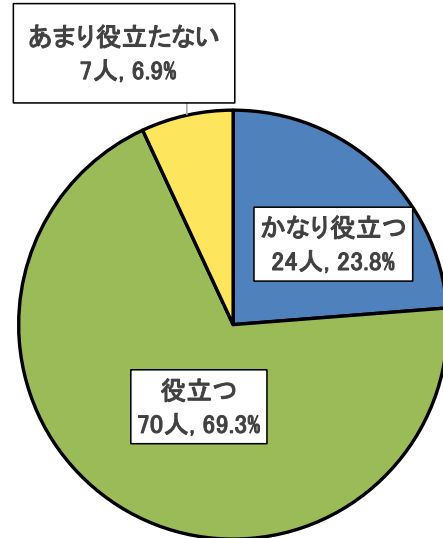
ライブ配信：32人（88.6％） 動画配信：69人（43.7％）

## 【質問項目のまとめ】

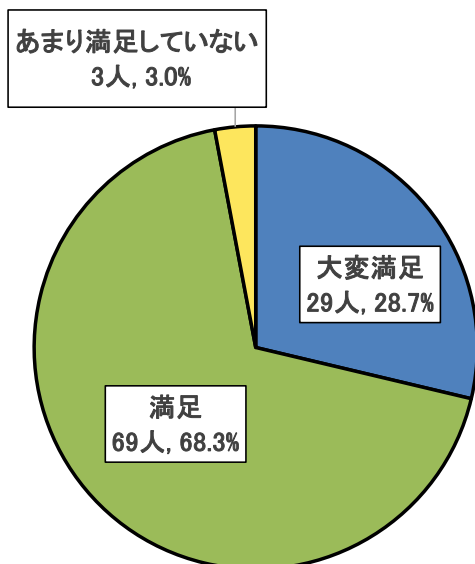
### 1) 理解度



### 2) 役立ち度



### 3) 満足度



### 4) 今回のセミナーを受講して、どのようなことから始めてみようと思いますか？（一部抜粋）

#### （ア）従業員の意見の吸い上げについて

- ・ 女性社員の現状やニーズ把握を行い、できることから取り組みを展開して行きたい。
- ・ 月経に関する困りごと・問題について、見落としていた部分だったので、（子宮頸がん検診に多く目を向けていた）啓発やアンケート実施などしていきたい。
- ・ 女性特有の疾患や健康課題について理解する、意見交換する場を設けることから始めてみようと思う。
- ・ 女性への配慮だけでなく、男女問わず社員が働きやすいような取り組みという視点から企業について知っていきたい。

#### (イ) 知識啓発について

- ・ 所属長に女性の健康に関する知識を知ってもらうことから始めてみようと思う。
- ・ 健康通信など発信するなかで男性にもみてもらえる機会を設け、事例の共有など行っていききたいと思った。
- ・ 新入職員研修や各事業所が集まる会議などで女性への健康課題へのきめ細かな配慮や、女性が働きやすい環境をつくることでよい影響を及ぼしている企業があることを紹介するなど情報提供をしていきたい。

#### (ウ) 働きやすい環境づくりについて

- ・ 普段からお互いを気遣うコミュニケーションを意識していく。
- ・ 衛生担当だけではなく、人事へ情報共有を図り、人事を巻き込んだ健康活動の推進を行いたい。
- ・ 女性が活躍されている職場や制度などをもっと情報収集して、今後どのように仕事につなげていくか考えていきたい。
- ・ 講義にあった女性への配慮に関する件は、男性からすると女性特有の問題はデリケートな部分として触れにくい部分であったが、困っていることを打ち明けられる環境づくり、人間関係づくりに努めていきたい。
- ・ 女性問題に関する男性の意識を常日頃から意識していきたい。

#### (エ) 取組支援の制度活用について

- ・ 健康経営の女性の健康の項目やあいち女性輝きカンパニーなどの取得を検討していきたい。
- ・ 予防接種や女性のがん検診費用などの補助を行っていきたい。

#### 5) 受講者の感想や意見（一部抜粋）

- ・ 女性の健康支援や対策については、どの企業も取り組む会社が増加傾向だが、発展途上の分野であり、どう進めていくべきか困っていた。他社の取り組みの情報を得ることができ、非常にありがたかった。
- ・ 男女に違いを理解するのはもちろん身体についてはきちんと男女の線引きをしなくても「健康」という観点から話を勧める方法もあるのだと改めて知った。男女という枠に固執しているのが、案外管理者や教育を実施する側だなと認識した。
- ・ 今回、他企業の方と情報交換でき有意義な時間になった。会社の規模や働く環境が異なっても情報を交換することで様々な視点を得られる。

#### 6) 次回の研修テーマについて（一部抜粋）

- ・ 女性の健康
- ・ メンタルヘルス（管理職、定年間近などのメンタルヘルス、ポジティブメンタルヘルス）
- ・ 40歳以下の若年層への取り組み
- ・ 高年齢労働者への対策、再雇用者への健康教育
- ・ 不規則勤務者への健康対策
- ・ 障がい者雇用
- ・ 両立支援
- ・ 健康経営
- ・ 禁煙
- ・ 小規模事業所の健康サポート